

令和元年度の事業報告書  
平成30年12月1日から令和元年11月30日まで

特定非営利活動法人アンダーウォータースキルアップアカデミー

1 事業の成果

- ・ 水難事故発生時の救助活動に出動することが多く、令和元年度は12回出動した。このうち1件は迅速な救助活動により救命につながったことが評価され下田海上保安部長から表彰を受けた。
- ・ 法人事務所があり会員も多い伊東市での水難救助活動の実績が関係機関に評価され、下田・東伊豆町での水難事故発生時に備えた委員会・連絡会等にも参加するようになり、活動範囲が拡大してきた。
- ・ 自治体等との災害時の応援協定の締結を進めてきたが、31年度は南伊豆町との協定を締結することができた。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	(A) 当該事業の実施日 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数
① ダイバーのダイビング技術向上に関する事業	潜水捜索訓練を開催	(A) R1年11月20日 (B) 伊東市伊豆海洋公園 (C) 3人	(D) 潜水指導者 (E) 15人
② 水中考古学に関する事業	(本事業年度は実施しなかった)		
③ 水辺の保全に関する事業	環境の保全を図るための地域の水中清掃を実施	(A) H30年12月16日 (B) 神奈川県芦ノ湖 (C) 3人	(D) 水辺を利用する市民 (E) 不特定多数
④ 水難救助等に関する事業	水難救助活動	(A) H30年12月～R1年11月に出動12回（内救助活動8回） (B) 伊豆半島・福井県 (C) のべ48人	(D) 海中落水者・潜水事故者 (E) 救助者8人
	関係機関との合同水難救助訓練	(A) R1年7月11日・10月30日 (B) 伊東市八幡野港・一碧湖 (C) のべ18人	(D) 水辺を利用する市民 (E) 不特定多数
	水難事故対策に関する関係機関との委員会・意見交換会等	(A) H30年12月～R1年11月に全8回 (B) 伊東市・下田市・東伊豆町 (C) のべ17人	(D) 水辺を利用する市民 (E) 不特定多数

事業名	事業内容	(A) 当該事業の実施日 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数
⑤ 地域の安全を援助する事業	海の安全・安心講習会 (酸素ファーストエイドコースとリスクマネージャーマネジメント講座) を開催	(A) R1年7月3日 (B) 伊東市富戸コミュニティセンター (C) 2人	(D) 潜水指導者 (E) 18人
	官民合同総合防災訓練 (漂流者救出訓練) への参加	(A) R1年9月1日 (B) 熱海市長浜海水浴場 (C) 6人	(D) 一般市民 (E) 不特定多数
	日本高気圧環境・潜水医学会 関東地方会学術集会で講演	(A) R1年6月22日 (B) 伊豆の国市アクシスかつらぎ (C) 4人	(D) 医療関係者・消防・潜水指導者・海保等 (E) 多数
	南伊豆町との災害時の応援協定締結	(A) R1年9月19日 (B) 南伊豆町役場 (C) 2人	(D) 南伊豆町民 (E) 多数
	ダイビング事故防止対策意見交換会開催	(A) H31年1月29日 (B) 伊東市富戸コミュニティセンター (C) 2人	(D) 潜水指導者・関係機関等 (E) 60人
⑥ 地域の観光を援助する事業	(本事業年度は実施しなかった)		
⑦ 海浜資源の保全と有効活用等により漁村の振興を援助する事業	(本事業年度は実施しなかった)		
⑧ 職業能力の開発及び労働災害等雇用環境の整備支援に関する事業	(⑤ 地域の安全を援助する事業「海の安全・安心講習会 (酸素ファーストエイドコースとリスクマネージャーマネジメント講座)」を参照)		
⑨ その他の事業 (広報活動)	マリン・フェアに出展 (パネル展示等)	(A) R1年7月6日 (B) 伊東市マリンタウン (C) 4人	(D) 水辺を利用する市民 (E) 多数
	伊豆地域市民活動ネットワーク全体交流会で活動紹介 (プレゼン)	(A) R1年9月25日 (B) 修善寺生きいきプラザ (C) 1人	(D) 参加者 (E) 約50人

